

熊本城の縄張り



しろ



【西大手門】

熊本城にある3つの大手門の中で最も格式が高かった門。加藤家に代わって肥後に入国した細川忠利がこの門の前で「謹んで肥後54万石を拝領致します」と深々と頭をたれたと伝えられ、そのとき頭にかぶった冠の先が敷居の中央に当たったことから、それ以後登城する藩士は中央を通らなくなったというエピソードが残っている。



【本丸御殿】

2008年に復元された本丸御殿は、家臣との対面や城主の私的な部屋など行政の場、生活空間として利用されていた。その中で一番格式の高い部屋「昭君の間」は実は「將軍の間」の隠語ではないかという説も残る。



【宇土櫓】

20mの高石垣の上に建つ、高さ約19mの城内最大の櫓で、天守並みの大きさを誇ります。3重5階地下1階。国指定の重要文化財であり、内部見学も可能。



熊本城のみどころ

【天守】

3重6階地下1階の大天守と3重4階地下1階の小天守からなる連結式天守。1877年に西南戦争で焼失、その後鉄筋コンクリート造で復元された。天守内では熊本城にまつわる貴重な資料が展示されており、最上階からは熊本の市街地が一望できる。

【二様の石垣】

勾配や石の積み方が違う石垣。ここでは加藤期と細川期でそれぞれで積み上げられた石垣が並んでおり、それぞれの特徴を一目で見比べることができる。

【細川期の石垣】

加藤期に比べ全体的に勾配が急。隅は長方形の石の短い方と長い方が交互に見えるよう積み上げ、強度を増した算木積みになっている。

【加藤期の石垣】

上部に行くほど勾配が急になっており、斜面の積み方は乱積（大きさや向きがバラバラ）。隅には同じ大きさの石が積んである。

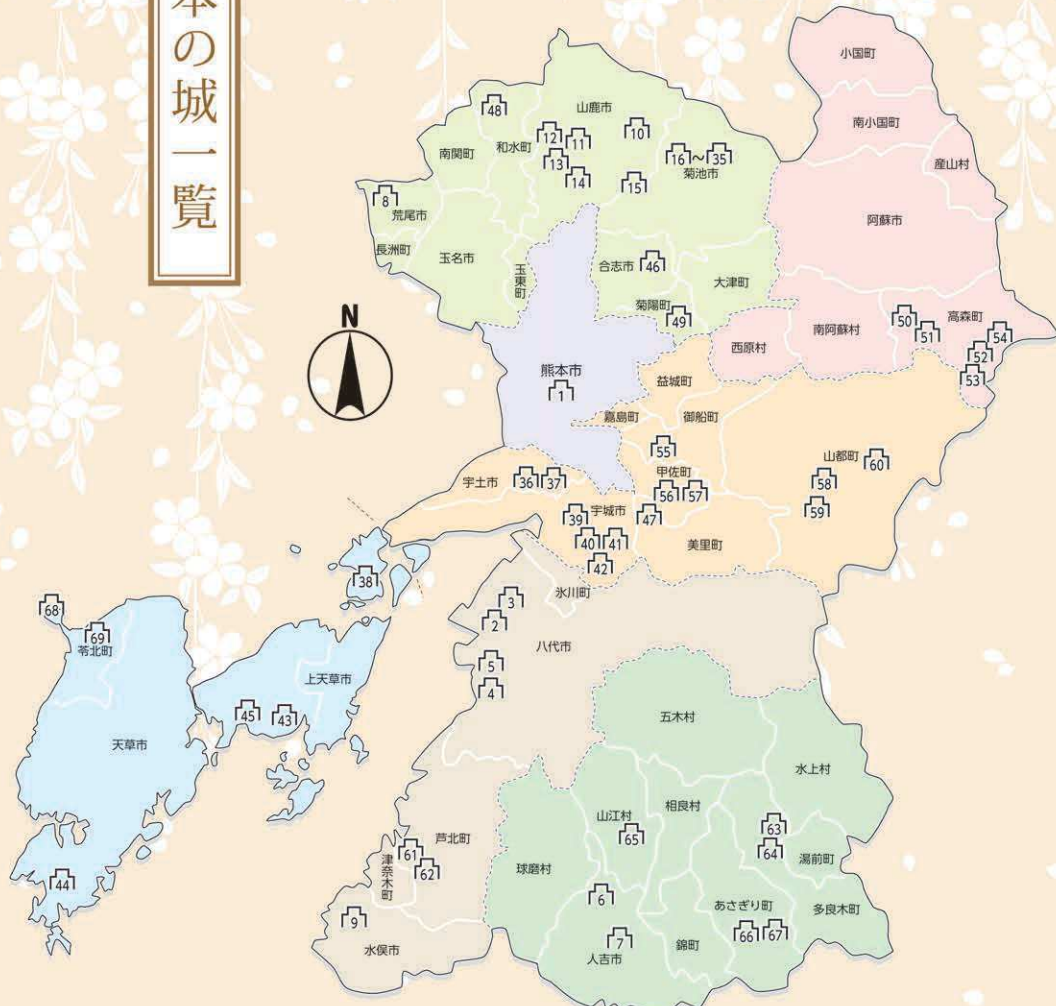


1	特史跡	熊本城	熊本市中央区本丸
2	国史跡	八代城跡群	八代市松江城町
3	市史跡	上土城	八代市千丁町太牟田字城(岩崎神社)
4	市史跡	田河内城	八代市日奈久新田町
5	市史跡	平山城	八代市平山新町字平山
6	国史跡	人吉城	人吉市麓町
7	市史跡	赤池城	人吉市赤池原町城山(天真寺)
8	市史跡	田次郎丸館	荒尾市原万田字浦田
9	市史跡	水俣城	水俣市古城
10	国史跡	隈部館	山鹿市菊鹿町上永野
11	市史跡	城村城	山鹿市城
12	//	平山城	山鹿市平山
13	//	西付城	山鹿市城
14	//	霧野城	山鹿市鹿央町霧野
15	国史跡	鞠智城	山鹿市菊鹿町米原・菊池市木野
16	市史跡	守山城	菊池市隈府(高野瀬)
17	//	菊之池城	菊池市深川
18	//	菊之城	菊池市北宮
19	//	古池城	菊池市出田
20	//	戸崎城	菊池市今南山ノ上
21	//	止林城	菊池市木庭古城
22	//	黄金塚城	菊池市四町分字黄金塚
23	//	元居城	菊池市重味字茂藤里
24	//	葛原城	菊池市市野瀬字城山
25	//	鷹取城	菊池市龍門染土
26	//	五社尾城	菊池市雪野城平
27	//	掛幕城	菊池市原
28	//	市成城	菊池市原
29	//	神尾城	菊池市七城町水次字屋敷(阿蘇三社宮)
30	//	台城	菊池市七城町台字城ノ上
31	//	増永城	菊池市七城町砂田字宮ノ前
32	//	正光寺城	菊池市七城町加恵
33	//	亀尾城	菊池市七城町亀尾字城平
34	//	馬渡城	菊池市七城町亀尾字下梶迫鶴
35	//	打越城	菊池市七城町蘇崎字打越
36	国史跡	宇土城	宇土市神馬町

37	市史跡	宇土古城	宇土市古城町(宇土城山公園)
38	市史跡	大矢野城	上天草市大矢野町中宇城本
39	市史跡	曲野城	宇城市曲野字橋川
40	//	豊田城	宇城市浦川内字古城
41	//	豊福城	宇城市松橋町豊福字下城
42	//	竹崎城	宇城市松橋町竹崎字陣の内
43	国史跡	棚底城	天草市倉岳町棚底字尾崎
44	県史跡	久玉城	天草市久玉町吉部川
45	市史跡	栖名城	天草市湯船原
46	市史跡	竹迫城	合志市上庄字城山(竹迫城跡公園)
47	国史跡	堅志田城	下益城郡美里町中郡字城山
48	国史跡	田中城	玉名郡和水町和仁字古城
49	町史跡	今石城	菊池郡菊陽町大字下津久礼(今石神社)
50	町史跡	高森城	阿蘇郡高森町高森
51	//	村山城	阿蘇郡高森町高森
52	//	社倉城	阿蘇郡高森町草部
53	//	中原城	阿蘇郡高森町芹口
54	//	川上岡山城	阿蘇郡高森町野尻
55	町史跡	御船城	上益城郡御船町滝川
56	町史跡	早川城	上益城郡甲佐町早川
57	//	甲佐城	上益城郡甲佐町豊内字南谷川
58	町史跡	岩尾城	上益城郡山都町城原字本丸
59	//	矢部城(愛藤寺)	上益城郡山都町白藤
60	//	飯蓋城	上益城郡山都町井無田
61	国史跡	佐敷城	葦北郡芦北町大字佐敷字下町(城山公園)
62	町史跡	佐敷東の城	葦北郡芦北町花岡、乙千屋、宮浦
63	町史跡	鍋城	球磨郡多良木町大字黒肥地字鍋城
64	//	相良頼景館	球磨郡多良木町大字黒肥地字蓮花寺
65	村史跡	山田城	球磨郡山江村山田
66	町史跡	花牟礼城	球磨郡あさぎり町秋時
67	//	上村城	球磨郡あさぎり町上西字麓(麓城跡公園)
68	町史跡	富岡城	天草郡苓北町富岡
69	//	志岐城	天草郡苓北町志岐

※指定文化財のみ掲載

熊本の城一覽



熊本城のうた



熊本城

加藤清正や細川家のエピソードを織り交ぜた「熊本城のうた」がYouTube吉本興業チャンネルにて公開中です。話題のダンスユニット、エグスプロージョンとくまモン&武将隊がダンスでコラボしました。ぜひご覧ください。

Youtube

熊本城のうた

熊本城 熊本城

熊本城

熊本城

日本三大名城のひとつ

熊本城 熊本城

加藤清正が完成させた

熊本城 熊本城

だけどだけど 元々の名前は

隈本城 隈本城

漢字を変えた理由は

熊の方が カッチョいい

もしもの時 **食べれる お城**

熊本城 熊本城

壁には **かんぴょう** 壘は芋の **茎茎**

熊本城 熊本城

場内には120箇所 **井戸井戸**

日本に初めて**セロリ**を持ってきたのも**加藤**

この城を後に引き継いだのは **細川家**

忠興の妻は絶世の美女 **細川ガラシャ**

こんな**素敵城**を見学するのに

年間パスポートはたったの **1,000円**

1,000円

1,000円

熊本城 熊本城

熊本城

熊本城

熊本城 熊本城

熊本城

熊本城

エグスプロージョン

(所属：吉本興業)

ダンス番組で初代殿堂入りを果たす元祖エンタメダンスユニット。毎年ライブツアーを行う、ストリートダンサーでは異色のライブダンサーでありながら、アーティストへのダンス振付けをはじめ、役者としての芝居出演、イベントMC、小・中学校でのダンス講師もこなす、マルチダンサー。



富岡城

天草の領主であった、肥前唐津藩の寺沢氏によって築かれた城。天草・鳥原の乱の激戦地にもなった。本丸跡は「富岡ビジターセンター」が整備されている。

■ 苓北町富岡字本丸 2245 - 15



鞠智城

約1300年前に築かれた古代山城。八角形鼓楼が特徴で、大和朝廷が大陸から日本列島への侵攻に備え西日本各地に築いた城の一つとされている。

■ 山鹿市菊鹿町米原 443-1
菊池市木野



田中城

別名を和仁城とも呼ばれ、中世に旧三加和町一帯を支配した和仁氏が本拠とした城。国衆一揆の際には、菊池の隈部親永に呼応し、田中城に半年間にわたり立て籠もった。

■ 和水町和仁



人吉城

人吉・球磨地方を支配していた相良(さがら)氏のお城。石垣上部を突出させた「忍び返し」と呼ばれる石垣が特徴。

■ 人吉市麓町



宇土城

加藤清正と同時に肥後南半国24万石を与えられた小西行長により築城。のちに肥後一国の主となった清正の隠居所として改修された。

■ 宇土市古城町



矢部城

阿蘇氏によって築かれた山城で、キリシタン大名であった小西行長によって近世城に改築された。さらにその後加藤清正によって修築を受けた。クルス瓦と呼ばれる十字架模様の瓦が出土した。

■ 山都町白藤

熊本県内の加藤・細川関連施設〈広域〉

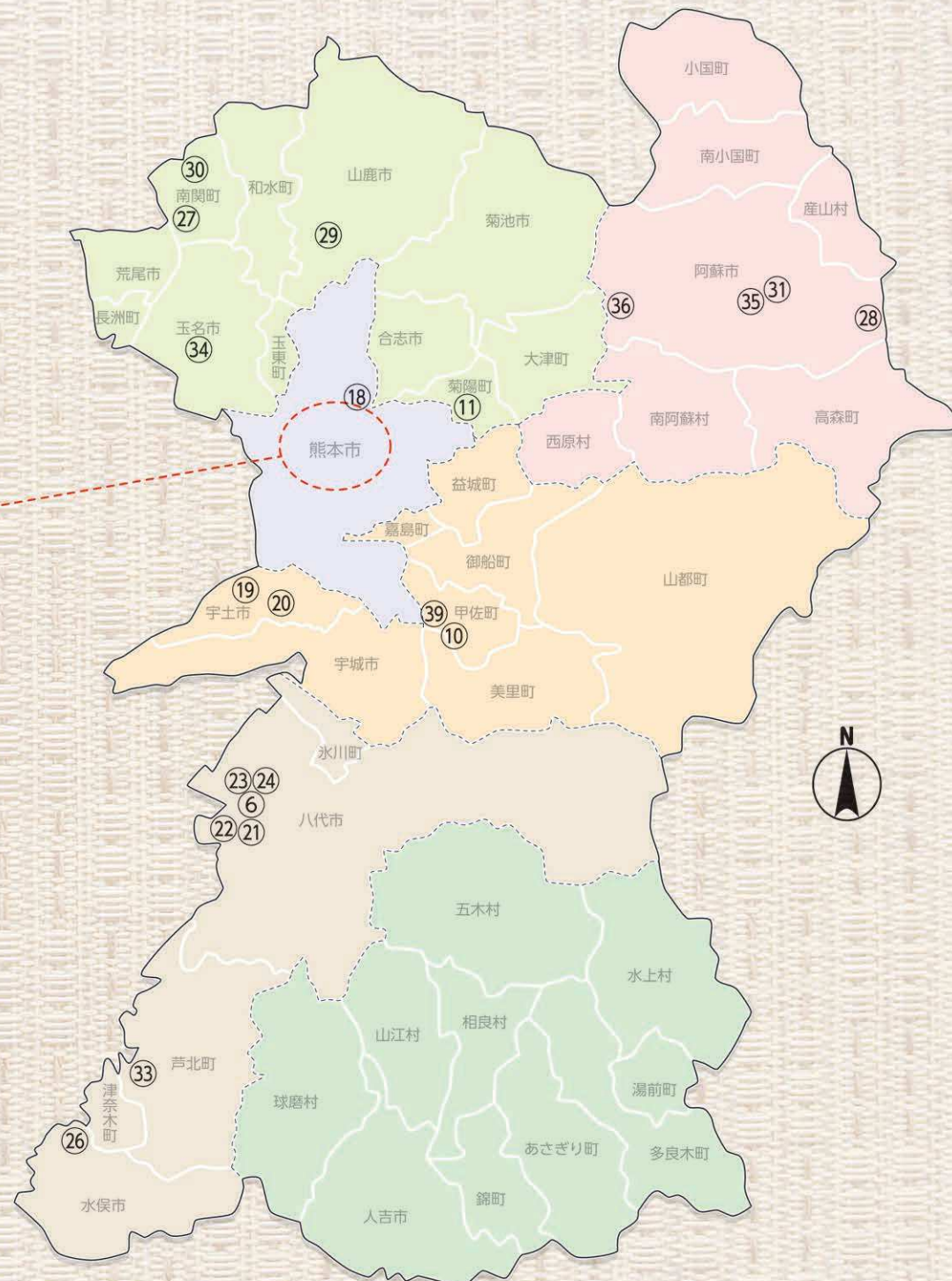
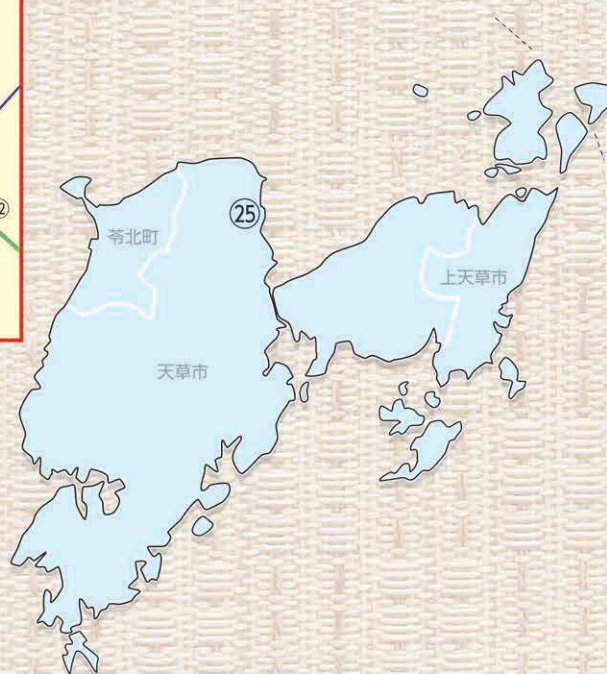
1	熊本城
2	歴史文化体験交流施設 湧々座
3	熊本県立美術館 永青文庫
4	肥後里山ギャラリー
5	熊本県伝統工芸館
6	八代市立博物館・未来の森ミュージアム
7	加藤神社
8	加藤清正公像
9	本妙寺
10	鶴の瀨埋
11	馬場楠井手の鼻ぐり (通称：鼻ぐり井手)
12	水前寺成趣園

13	妙解寺跡
14	泰勝寺跡
15	旧細川刑部邸
16	熊本藩御薬園跡
17	三賢堂
18	八景水谷
19	網田焼の里 (網田焼資料館)
20	轟泉水道
21	妙見宮 (八代神社)
22	八代城址
23	松浜軒
24	松井文庫
25	芳證寺

26	はげの木街道
27	古小代の里
28	知事塔
29	さくら湯
30	豊前街道南関御茶屋跡
31	阿蘇神社
32	高麗門
33	佐敷城跡
34	高瀬船着場跡
35	麓坊中 (西巖殿寺)
36	豊後街道 (二重峠)
37	禅定寺
38	妙永寺
39	やな場



拡大図





熊本県立美術館

information

熊本市中央区二の丸2
TEL 096-352-2111

入館料(県立美術館):
共通券(別棟展示室+本館二階展示室)
一般420円 大学生250円

開館時間: 9:30~17:15(入館は16:45まで)
休館日: 月曜、年末年始
※但し月曜が祝日の場合は開館、翌日が休館

熊本城二の丸公園の一角に位置し、古代から現代美術まで扱う熊本県立美術館。その一角に開館した「細川コレクション永青文庫展示室」。永青文庫が所蔵している、細川家の700余年におよぶ貴重な美術工芸品や古文書などの文化財を常設展示している。年におよそ4回程度、常設展示と特集展示をあわせた「細川コレクション展」を開催。



information

熊本市中央区練兵町1番地
肥後銀行本店ビル1階
TEL 096-326-7800

入館料: 無料

開館時間: 9:30~16:30

休館日: 日曜、祝日、12/31 ~ 1/3

肥後銀行本店内にある施設。熊本県にゆかりのある歴史的な遺産・文化財を中心とした展示や、熊本大学で研究されている永青文庫古文書の解説セミナー、文化講演会などが行われている。また、永青文庫所蔵の『領内名勝図巻』全巻及び熊本県内の重要文化財等のデジタルミュージアムが設置しており、高精細画像での文化財鑑賞を常時楽しめる施設。

肥後の里山ギャラリー



歴史文化体験交流施設

湧々座

information

熊本市中央区二の丸1番1-1号
TEL 096-288-5600

入館料: 大人300円
子ども(小中学生) 100円
※熊本城との共通入園券もあります。
大人600円 / 子ども(小中学生) 200円

営業時間
8:30 ~ 18:30(入館は18:00まで) [3月~11月]
8:30 ~ 17:30(入館は17:00まで) [12月~2月]
※熊本城夜間開園時は、19:30まで延長
(入館は19:00まで)

熊本城 桜の馬場 城彩苑内にあるエンターテインメント空間。熊本城や城下町をはじめとする、熊本の歴史や文化を、「見て、聞いて、触って」感動体験ができる施設。最新鋭のVR(バーチャルリアリティ)で、江戸時代中期の熊本城を臨場感ある映像で再現できたり、迫力ある映像と役者による舞台もあり、大人から子どもまで楽しめる。



熊本県伝統工芸館



熊本城のすぐ横にある文化施設。生活に結びつき、古くから親しまれてきた熊本の伝統工芸品を展示即売している。肥後象がんや陶磁器、刃物、竹製品、木工品、染織物といった、熊本県の指定を受けた伝統工芸品を中心に展示。週替わりで様々な催しも行われている。

information

熊本市中央区千葉城町3-35
TEL 096-324-4930

入館料：2階企画・常設展示室のみ
大人210円、大学生130円、高校生以下無料

開館時間：9:00～17:00(入館16:30まで)

休館日：月曜(祝日の場合は翌日)
12/28～1/4

八代市立博物館・未来の森ミュージアム



八代周辺で発掘された出土物や江戸時代の道具類を展示。古代から現代までの八代地方の歴史や、人々の暮らしを中心に紹介する博物館。八代城(松江城)城郭模型や妙見宮祭神幸行列人形模型、八代焼きなどに加え、八代城主松井家が所蔵する武具や絵画、調度品、茶道具など美術・工芸品が常設されている。

information

熊本県八代市西松江城町12-35
TEL 0965-34-5555

入館料：大人300円 大学生・高校生200円
小中学生無料

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30)

休館日：月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

加藤神社



熊本城内にある、加藤清正を主神とする神社。毎年7月第4日曜日に開催される清正公(せいしよこ)まつりは、熊本の夏の代表的な祭りで、神幸行列や、加藤清正に扮した子どもたちが練り歩く「千人清正」などで賑わう。

熊本市中央区本丸2-1
TEL 096-352-7316

加藤清正公像



坪井川の歩道沿いに鎮座しており、甲冑と長烏帽子姿で、熊本城を背に、城下町を見守っている。銅像の背後にのびる行幸坂は熊本城内へと続いており、熊本を代表する観光スポットとなっている。

熊本市中央区花畑町
御幸橋近く

本妙寺



加藤家代々の菩提寺で、日蓮宗の名刹。境内には加藤清正にまつわる遺品や文書、書画、工芸品など貴重な文化財を収蔵・展示する加藤清正公記念館(改修中)が所在。H28年度オープン予定。本妙寺から300段の階段を登った先には、清正の銅像がくまもとの街並みを見守るように建っている。

熊本市西区花園4-13-1
TEL 096-354-1411

鵜の瀬堰



緑川沿いに鎮座し、古くより肥後南方の守護神として人々に信仰されてきた甲佐神社から500メートル程下流に位置する鵜ノ瀬堰。この地域の民話には、加藤清正が「鵜」が並ぶ通りに堰をつくったことで、激しい水の流れを制することが出来たので、「鵜の瀬堰」と呼ぶようになったという話が残っている。(P46に関連情報)

甲佐町豊内

馬場楠井手の鼻ぐり (通称：鼻ぐり井手)



馬場楠井手は、菊陽町馬場楠の白川取水口から熊本市の東海学園前駅近くまで約12.4km続く現役の農業用水路で、加藤清正によって築造されたと伝えられている。菊陽町辛川地区では、水を通すトンネル状の溝穴が開いており、水力を利用して溜まった土砂を排出させる仕組みを見ることができる。この穴の形が牛の鼻輪を通す穴に似ているところから「鼻ぐり」と呼ばれている。(P45に関連情報)

菊陽町曲手

水前寺成趣園



初代藩主細川忠利がつくらせた御茶屋を前身とし、寛文10年(1670)に3代藩主細川綱利によって造成。園内には、細川藤孝(幽斎)ゆかりの古今伝授の間が移築されている。桃山式の回遊式庭園で、豊富な湧水を利用した池が特徴。園内には細川藤孝、忠興や歴代藩主を祀る出水神社が鎮座している。国指定名勝及び史跡。(P49に関連情報)

熊本市中央区水前寺公園8-1 TEL 096-383-0074
入苑料：大人(高校生以上)400円、子供(小・中学生)200円
開園時間：
7:30~18:00(入園は17:30まで) [3月~10月]
8:30~17:00(入園は16:30まで) [11月~2月]



八代城跡

初代藩主細川忠利の肥後入国時に、忠利の父細川忠興(三斎)の居城となった城。忠興没後は細川家重臣の松井興長が城主となり、明治3年の廃城まで代々筆頭家老松井家の居城となった。平成26年には、中世からの城跡も含めて「八代城跡群」として国の史跡に指定された。

八代市松江城町7-34



網田焼の里(網田焼資料館)

熊本藩の保護のもと、幕府や大名への贈り物として焼かれていた「網田焼」。網田焼資料館では、江戸時代からの作品(置物、香炉、筆立など)をはじめ、網田焼に関する様々な資料が収集・展示されている。

宇土市上網田町787-1
TEL 0964-27-1627(網田焼の里資料館)
開館時間: 9:00~16:30
入館料: 大人200円 小・中学生100円
開館日: 土、日曜、祝祭日(年末年始除く)



熊本藩御薬園跡

おやくえんあと

6代藩主細川重賢による「宝曆の改革」の一環として「医学校」「再春館」とともに創立された薬草園「蕃滋園」跡。500坪もの広大な薬園では、薬草だけでなく、観賞用の植物も多数栽培されていたことから、「肥後六花」発祥の地となった。現在は「薬園町」という名前だけがのこっている。

熊本市中央区薬園町



妙解寺跡

花岡山麓にある、2代藩主細川光尚が、父(初代藩主忠利)の菩提を弔うために建立した寺跡。忠利夫婦、光尚の廟所や歴代藩主の墓などが存在しており、現在は一帯が北岡自然公園として開放されている。作家・森鷗外の「阿部一族」のモデルとなった細川家重臣・阿部弥一右衛門の墓もある。国指定史跡。

熊本市中央区横手2-5-1 TEL 096-356-8005
入園料: 高校生以上200円 中学生以下100円
開園時間: 8:30~17:00(入園は16:30まで)
休園日: 12/29日~12/31



松浜軒

八代城主松井直之公が母崇芳院尼のために建てたお茶屋。当時この辺りには松が茂り、八代海を見渡せる浜辺であったことから松浜軒と名づけられた。四季折々の花々が咲き、特に6月上旬には約5,000本の肥後花ショウブが大輪の花を咲かせる。国指定名勝。

八代市北の丸町3-15
開園時間: 9:00~17:00(入園は16:30まで)
休館日: 月曜(祝日の場合は翌日)
入館料: 大人 500円 小・中学生 250円



轟泉水道

轟泉水道は、宇土藩初代藩主、細川行孝が土管を用いて整備したことが始まりとされている。その100年後、宇土藩5代藩主興文の時代に土管が劣化するのを防ぐため、馬門石(まかどいし、ピンク色が特徴)で整備しなおしました。現役で使用されている上水道では日本最古といわれ、その源泉である轟水源は「日本の名水百選」にも選定されている。

宇土市宮庄町



三賢堂

熊本出身の政治家・安達謙蔵が、熊本市民の精神修養の場にしたいと昭和11年に建てた鉄筋コンクリートの円形のお堂。肥後の三賢人、菊池武時、加藤清正、細川重賢の座像が安置されている。

熊本市西区島崎5-32-27
TEL 096-328-2039(熊本市文化振興課)
料金: 無料 開館時間: 9:00~17:00
閉館日: 月曜(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3
※堂内の見学は事前に文化振興課へ連絡

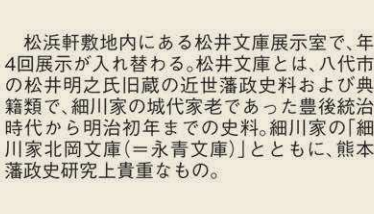


泰勝寺跡

妙解寺と同じく細川家の菩提寺として建立された寺跡。初代藩主細川忠利が泰勝院(泰勝院は祖父細川藤孝の法名)として建立。その子細川光尚の時、京都より大淵和尚を住職として招き泰勝寺と改めた。

ここには、細川藤孝夫妻とその子忠興(三斎)、その妻ガラシャの墓である「四つ御廟(ごびょう)」をはじめ、藩主の墓、細川家ゆかりの宮本武蔵の供養塔などが存在しており、現在は一帯が、立田自然公園として開放されている。国指定史跡。

熊本市中央区黒髪4-610 TEL 096-344-6753
入園料: 高校生以上200円 小・中学生100円
開園時間: 8:30~17:00(入園は16:30まで)
休園日: 12/29~12/31



松井文庫

松井軒敷地内にある松井文庫展示室で、年4回展示が入れ替わる。松井文庫とは、八代市の松井明之氏旧蔵の近世藩政史料および典籍類で、細川家の城代家老であった豊後統治時代から明治初年までの史料。細川家の「細川家北岡文庫(=永青文庫)」とともに、熊本藩政史研究上貴重なもの。



妙見宮(八代神社)

妙見宮で毎年11月22日から11月23日にかけて開催される「妙見祭」は九州三大祭の一つに数えられ、国の重要無形民俗文化財にもなっている。この伝統ある祭りは細川忠興の八代城主時代に復興され、現在の神幸行列等の原型がつけられたと言われている。また、妙見宮では毎年5月31日から6月1日にかけて「氷室祭」も開催され、どちらも大勢の参拝者が訪れる。(P.75に関連情報)

八代市妙見町405



八景水谷

3代藩主細川綱利によってこの地に御茶屋が建てられたことが始まり。八景水谷の「八景」とは、三岳青嵐、金峰白雪(金峰山と積雪)、熊城暮靄(熊本城と夕靄)、壺田落雁(坪井の田畑と雁)、浮島夜雨(八景水谷の浮島と夜の雨)、龍山秋月(立田山と秋の月)、亀井晩鐘、深林紅葉と伝えられている。現在は「八景水谷公園」として市民の憩いの場となっている。

熊本市北区八景水谷1丁目



旧細川刑部邸

細川刑部家は、初代藩主細川忠利の弟、興孝が祖となって始まった一門。刑部邸は延宝6(1678)年に東子銅町に建てられた別荘で、平成2年に一部を現在の熊本城内三の丸に移築し、復元された。全国有数の上級武家屋敷としての格式を持つ、県指定重要文化財。

熊本市中央区古京町3-1 TEL 096-352-6522
入場料: 高校生以上300円 小・中学生100円
開館時間:
8:30~17:30【3月~11月】
8:30~16:30【12月~2月】
休館日: 12/30~12/31



高瀬船着場跡

高瀬は有明海の良港であったことから、古くから外国の船が入り出していた。
加藤清正は、菊池・山鹿・玉名地方で生産された米を集め、積み出すことができるように船の発着場や米蔵を整備するなど、港の規模拡大事業に力を注ぎ、貿易による収益を得ることに成功した。

玉名市高瀬



阿蘇神社

肥後において一大勢力を誇ったものの、戦国時代に一時滅亡した阿蘇氏が大宮司家(神官)として復興を果たすことが出来たのは、加藤清正の厚遇によるところが大きい。また、現在まで残る阿蘇神社社殿の本格的な造営は、熊本藩の一大事業として行われた。国指定重要文化財。

阿蘇市一の宮町宮地3083-1



知事塔

明治維新後、熊本藩知事細川護久の実施した雑税の免除に喜んだ農民が、感謝の意を込め建立した記念碑。阿蘇郡内や大分県の旧熊本藩領に10か所残されている。

阿蘇市波野中江



芳證寺

天草市五和町にある曹洞宗の寺で、境内には細川興秋(細川忠利の兄)のものと言われる墓が残されている。興秋は、細川家の記録によると大阪城の戦いに豊臣方として参戦し、徳川方の父忠興により切腹させられたとなっているが、実はその後天草に逃れこの地の庄屋として代々暮らした、という一説も残っている。

天草市五和町御領6610



麓坊中(西巖殿寺)

西巖殿寺の起りは神龜3年(726)と言われ、元々は阿蘇山上の火口近く(現在の古坊中)に位置していた。山岳仏教・修験道の一大拠点として、一時は隆盛を極めた古坊中だが、戦国時代末期の混乱により阿蘇山上から寺社等が撤退・四散することとなった。

その後、加藤清正により現在の地に寺社等が再建、新たに「麓坊中」と呼ばれるようになった。
阿蘇市黒川114



高麗門

加藤清正が熊本城築城の際、西側からの敵を防ぐために設けた29門の一つ。近年、JR在来線の高架化に係る発掘調査により高麗門関連の遺構が発見されている。また、付近には高麗門の跡を示す石碑が建立されている。

熊本市中央区新町4丁目



さくら湯

山鹿の温泉を気に入った初代藩主細川忠利が、寛永17(1640)年に御茶屋を新設したのがはじまりと言われている。市民の湯処として多くの人に愛されており、平成24年には明治期の温泉施設が復元された。

山鹿市山鹿1番地1
TEL 0968-43-3326
入湯料: 大人300円 子ども150円
営業時間 6:00~24:00
休館日: 毎月第3水曜日(祝日の場合は翌平日)



はぜの木街道

熊本藩では、産業振興として榎蠟(はぜろう: ろうそくの原料)の生産が行われた。水俣市待地区では、現在もその名残りとして榎の木が約1万本も残っている。

待街道はぜのき館
水俣市月浦453-3 TEL 0966-62-2180



豊後街道(二重峠)

豊後街道は、熊本城から阿蘇地域を通り、豊後鶴崎(大分)に至る道で、古来より九州を横断する基幹流通経路として栄えた。清正は街道沿いを全て熊本藩の飛び地とし、迅速に瀬戸内海へと抜けることを可能とした。阿蘇市の二重峠地区は、急峻な坂道に敷かれた石畳が特徴で、この地区を含む阿蘇地域の豊後街道(の一部)は、平成25年に国史跡として指定された。



佐敷城跡

加藤清正が、薩摩の島津氏に備えるべく築城したもので、小西行長が肥後の南半分を治めていた際も、清正の飛び領地として「見張り番」の役割を担っていた。

「葦北鉄砲隊」は、佐敷城を含む葦北地方の防衛体制を強化するため熊本藩によって組織された。火縄銃の歴史と文化を守るため現代に復活を果たし、平成26年には火縄銃の一斉射撃によるギネス記録も樹立している。国指定史跡。

葦北町佐敷190-4



豊前街道南関御茶屋跡

肥後と豊前小倉を結ぶ豊前街道において、藩境であった南関。街道沿いの御茶屋は嘉永5(1852)年頃に完成し、藩主の参勤交代時や、領内巡視の際に休憩・宿泊していた。御茶屋の屋根には細川家の九曜紋をあしらった鬼瓦や軒瓦が葺かれている。国指定史跡。

南関町大字関町1324 TEL 0968-53-0859
入館料: 高校生以上200円 小・中学生100円
開館時間 9:30~16:30
休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)



古小代の里

初代藩主細川忠利の肥後入国の際に、豊前国から連れてきた陶工が開いた「小代焼」。県指定文化財の小代焼古窯跡を中心に整備された古小代の里公園内には窯跡や休憩所があり、焼き物の里の風情が楽しめる。

南関町宮尾

全国に加藤・細川 ゆかりの地



丸岡城跡

加藤清正の子・加藤忠広は寛永9年(1632)幕府に領地を没収され、庄内藩酒井氏に預けられた。酒井氏により、忠広の居館、家臣の長屋などが新築されたが、火災によって消失。その後京都にあった館を移築し、承応2年(1653)の逝去まで忠広はこの地で暮らした。

山形県鶴岡市丸岡字町の内36



中村公園

豊臣秀吉を奉じた豊国神社を中心に整備された純日本風回遊式林泉庭園をもつ公園。園内には秀吉、加藤清正と、二人の生きた時代を紹介する歴史博物館「名古屋市秀吉清正記念館」がある。

愛知県名古屋市中村区 中村町茶の木25



天照寺

加藤忠広の子、加藤光正は父の改易に伴い、飛騨高山に配流された。光正は天性寺(現・天照寺)で暮らし始めたが、父に先立ち病死したと言われている。

岐阜県高山市天性寺町83



日蓮宗正悦山「妙行寺」

加藤清正生誕地とされる場所に建立された日蓮宗の寺。境内には甲冑姿の清正の銅像や「清正誕生之碑」と掘られた石碑がある。

愛知県名古屋市中村区中村町木下屋敷22



禅定寺

加藤家の重臣(家老)並河志摩守の支援により開基。加藤家・細川家の重臣達の墓が数多く記されている。



熊本市中央区横手1丁目9番6号



妙永寺

加藤清正が母・伊都子(聖林院殿天室日光大姉)の菩提を弔うために建立。開山は本妙寺初代・日真とされ、日真は本妙寺を日邊に譲ってここに隠居したといわれている。その後、日真の招きで日収が寺に入った。このような経緯から、本妙寺と妙永寺は両寺一山、両山一寺といわれるほど深い関係をもっていた。日収に深く帰依していた細川忠利は、多大な援助を与えたとも伝わる。

熊本市西区横手1丁目



やな場

元々は初代藩主細川忠利の命によって、水田用水調節のために造られたが、その後代々の藩主が毎年とれたての落ち鮎を楽しみに訪れる場所となった。現在、ここでは鮎漁解禁時期の6月から11月までおいしい鮎料理が楽しめる。

甲佐町豊内19-1 TEL 096-234-0125
営業：毎年6月1日から11月4日



細川家下屋敷跡

細川家白金山邸跡地。吉良邸討ち入り後に細川家お預けとなった赤穂浪士が切腹した場所。現在は、屋敷の面影である庭の一部を門より望むことができる。

東京都港区高輪1-14



永青文庫

細川家伝来の美術品、歴史資料やコレクションを保存・展示・研究するために設立された美術館。隣接する新江戸川公園も含め、この一帯は元々細川家が所有していた。

東京都文京区目白台1丁目1-1



加藤清正下屋敷跡

下屋敷は、火災などで被災した場合の避難地として、また物資の保管場所や別荘としても機能を果たせるように、郊外に置かれていた。現在は明治神宮の一部となっており、清正が掘ったと言われる井戸「清正井」が残されている。

東京都渋谷区代々木神園町1-1



本圀寺

日蓮宗の大本山。近年京都六条より移転した。熱心な日蓮信者であった清正が深く信仰した。清正公廟と正室清浄院(かな姫)と娘(八十姫)廟が仲良く並んでいる。また寺の入口の赤門は清正がこの門から朝鮮へ出陣したことから「清正門」と呼ばれている。熊本の本妙寺は本圀寺派の九州総本寺。

京都府京都市山科区御陵大若6



高桐院

細川忠興によって創建された、京都における細川家の菩提寺。忠興の遺骸が埋葬されるとともに、忠興・ガラシャ夫妻の墓塔である欠灯籠が所在している。

京都府京都市北区紫野大徳寺町73



新江戸川公園

細川家下屋敷の庭園だった場所を池泉回遊式庭園として整備。公園入口には、細川家の学問書だった松聲閣(しょうせいかく)が建っている。平成28年1月にリニューアルオープンした。松聲閣にある六つの部屋は、「肥後六花」にちなんで、椿、芍薬、花菖蒲、山茶花などと名付けられるなど、より熊本色の濃い施設に生まれ変わった。

しょうせいかく
松聲閣

東京都文京区目白台1-1



池上本門寺

日蓮宗の大本山。池上本門寺の総門から続く96段の石段「此経難持坂(しきょうなんじざか)」は、加藤清正が寄進した。また、境内にある釣り鐘の一つは、清正の娘、八十姫(瑤林院)が寄進したとされている。

東京都大田区池上1-1-1



報恩寺

加藤清正の娘であり、紀州徳川家に嫁いだ八十姫(瑤林院)の菩提寺。八十姫が奉納した両親位牌(清正と清浄院の一本仕立)がある。

和歌山県和歌山市吹上1丁目6-38



鶴崎港

熊本藩の飛び地領で、熊本～阿蘇～久住と九州を横断する豊後街道の終点。藩主が参勤交代に使用した御座船「波奈之丸」の発着地。現在の鶴崎港は工業地帯の中にあり、関係者以外立入禁止。鶴崎には「熊本藩鶴崎御蔵跡」と「熊本藩 鶴崎作事所跡 有終館跡」の碑、弼八幡宮に奉納された「熊本藩船鶴崎入港船絵馬」がのこっている。

大分県大分市鶴崎



妙解院跡(細川家墓所)

寛永20年(1643)に2代藩主細川光尚が父忠利の菩提を弔うために建立した寺院で、江戸、東京における細川家の菩提寺。

東京都北品川区3丁目11-17



清正公堂(覚林寺)

清正公堂の所在する覚林寺は、加藤清正が朝鮮から連れ帰った王族が出家し、創建したと言われている。清正公堂には、清正信仰の拠り所として、多くの参拝客が訪れている。

東京都港区白金台1-1-47



加藤清正上屋敷跡

上屋敷は、藩主が江戸に滞する際の住居として使われるのはもちろんのこと、その藩の政務を統括する役所でもあった。そのため、登城に便利なよう、各藩の上屋敷は江戸城近くに集中していた。現在は、日本水準原点標庫が置かれており、日本の測量における最も重要な基準点となっている。

東京都千代田区永田町1-1-1

中津城



築城を開始したのは有名な黒田官兵衛だが、官兵衛が領地替えとなったことから、後任の細川忠興が中津城を完成させた。堀に海水が引き込まれており、今治城(愛媛県)・高松城(香川県)と並び「日本三大水城」と呼ばれている。

大分県中津市二ノ丁本丸

小倉城



細川忠興が豊前國小倉藩主時代に築城した平城。忠興とその子忠利は、九州の各街道の起点として小倉城下の振興に力を注いだ。その後、忠利は改易された加藤家に代わり熊本へ向かうこととなる。

福岡県北九州市小倉北区城内2-1

本ガイドブックを制作するにあたり、ご助言・ご協力をいただきました。(敬称略)

熊本県文化協会 会長 吉丸 良治

末吉・歴史文化研究所 末吉 駿一

平成 28 年 3 月発行

発行元 熊本県文化企画・世界遺産推進課

〒 862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

TEL 096-333-2153 FAX 096-381-9829